



図1 1♂, 兵庫県淡路市岩屋, 2017. VII. 9. 筆者採集.



図2 長谷川上流のため池.

場所は、岩屋港に流入する長谷川上流のため池である(図2)。ため池の縁から、水面に倒れて張り出した枯れ枝先端に静止している個体を採集した。周辺も探索したが、他の個体は発見できなかった。9月にも当地を訪れ、本種を探したが見つけれなかった。仮に四国から侵入したとすると、既に淡路島全域に生息している可能性は高いと思われる、島内での分布状況を把握することが望まれる。

最後に、兵庫県の記録の有無を御教示くださった青木典司氏に深謝申し上げる。また、標本は人と自然の博物館に寄贈する予定である。

○参考文献

青木典司, 2017. 兵庫県とその近隣のトンボたちリスト. ベニトンボ, 神戸のトンボ. (<http://www.odonata.jp/01live/Libellulidae/Trithemis/aurora/index.html>) (2017年10月15日アクセス)

(Noriaki INAHATA 京都府京都市)

南あわじ市でスナアカネ, 神戸市中央区でオナガアカネを確認

八木 剛・池田 大

わが国ではいずれも偶産とされる2種のアカネ属(*Sympetrum*)のトンボを兵庫県内で確認したので、記録しておく。

1. スナアカネ *Sympetrum fonscolombii*

2017年9月9日 1♂ 兵庫県南あわじ市阿万吹上町 吹上浜(図1)



図1 南あわじ市で捕獲されたスナアカネ.



図2 スナアカネが捕獲された南あわじ市吹上浜.

国立淡路青少年交流の家主催事業「AWAJI むしむしキャンプ」における99名の参加者の一人(成人男性)が採集した個体を、池田と八木が確認した。採集者によると、同種と思われる別個体も発見したが捕獲できなかったとのことであった。砂浜の後背草地にいたという(図2)。当日の天候は晴れ。他のアカネ属は見られず、多数のウスバキトンボと、シオカラトンボ、ギンヤンマ、アオモンイトトンボが、キャンプ参加者によって捕獲されていた。

2. オナガアカネ *Sympetrum cordulegaster*

2017年10月5日 1♂ 兵庫県神戸市中央区北長狭通4丁目 神戸市立神戸幼稚園内(図3)

園庭に植栽されたソメイヨシノの、高さ3.5m程度の枝先に静止していた個体を、八木が捕獲した。虫探しをしていた65名の園児と教員らは本個体の存在に気づいていなかった。幼稚園の周辺は官公庁や高層住宅が建ち



図3 神戸市中央区で捕獲されたオナガアカネ.



図1 冠島の外観.



図4 オナガアカネが捕獲された神戸市立神戸幼稚園の園庭.



図2 フキバツタの1種.

並び、園庭は都市環境における島状の緑地の一つとなっている(図4)。当日の天候は曇り。アカネ属を含め他のトンボ類は見られなかった。

(Tsuyoshi YAGI 兵庫県立人と自然の博物館)
(Hiroshi IKEDA 三田市有馬富士自然学習センター)

私の専門のキジラミについて、ホストのトベラ、シャリンバイ、オオバグミなどが多く見られ、何度もネットでビーティングしてみたが、まったく得られなかった。また島内はオオミズナギドリの巣が至る所にあつて、歩行がすこぶる困難であった。島内に滞在したのは、午後2時半ころからおおよそ2時間ほどである。

(Yorio MIYATAKE NPO 法人こどもとむしの会)

京都府舞鶴市冠島で観察された昆虫の記録

宮武頼夫

2017年7月20日、大阪市立自然史博物館の初宿成彦氏代表のもと、特別許可をとって冠島(図1)でヒメハルゼミの生息確認の調査が行われた際、総数10名の一行に私も加わることができた。残念ながらヒメハルゼミは鳴き声も抜け殻も確認することができなかったが、数種の昆虫を確認することができた。なかなか調査することができない所なので、普通種ばかりであるが、記録しておきたい。

ニイニイゼミ(成虫, 抜け殻), アオバハゴロモ, アオスジアゲハ, キタキチョウ, ウラギンシジミ, ヤマトタマムシ, フキバツタの一種(図2), ウスバキトンボ。